

令和 6 年度進行管理・評価シート
佐川町歴史的風致維持向上計画（第 2 期）（平成 3 1 年 3 月 2 6 日認定）

□進捗評価シート(様式 1)

①組織体制(様式 1-1)	
1 庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式 1-2)	
1 司牡丹酒造(株)焼酎蔵買取・整備事業	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式 1-3)	
1 「文教のまち」推進事業	3
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式 1-4)	
1 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について	4
2 文化財の防災について	5
3 文化財の保存及び活用の普及・啓発について	6
⑤効果・影響等に関する報道(様式 1-5)	
1 報道等タイトル・掲載紙一覧	7

□法定協議会等におけるコメントシート(様式 2)	8
--------------------------	---

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	佐川町歴史的風致維持向上計画を円滑かつ着実に遂行するために、計画推進体制（事務局と審議組織との連携）を強化し、歴史的風致維持向上計画協議会の活動をサポートしていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
庁内会議を9回、佐川町歴史的風致維持向上計画協議会を1回開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
庁内会議 令和6年 4月12日 5月 9日 6月 4日 7月 2日 7月24日 8月 6日 8月22日 11月20日 令和7年 3月28日   佐川町歴史的風致維持向上計画協議会 令和7年2月26日			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
司牡丹酒造(株)焼酎蔵買取・整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物指定予定の司牡丹焼酎蔵を買い取り、老朽化により崩れかけている白壁の修理、内外装の整備、耐震補強工事を行い、酒作り歴史展示施設としての機能を付加する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本年度は、令和5年度から実施中の「司牡丹酒造(株)焼酎蔵買取・整備事業 耐震補強基本計画及び活用計画策定業務」が完了した。
当初は、令和5年度に完了予定であったが、宿泊や飲食などの収益を生む機能が、継続的に運営が可能なのかを試算・条件設定をするために業務を延長して行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

令和7年度は設計業務を実施予定であるが、本施設は主に3つの機能(酒造り展示機能・宿泊機能・飲食機能)を持たせることもあり、管理運営について、専門的な知識や高度な技術と発想力をもって、魅力的で効率的な運営を期待しているため、施設管理者としての意見を設計段階から反映できるよう、指定管理者候補を設計業務と並行して公募予定である。

状況を示す写真や資料等

施設整備スケジュール(予定)

- | | |
|---------------------|-------------|
| (1) 耐震補強基本計画・活用計画策定 | 令和5年度～令和6年度 |
| (2) 用地買取 | 令和6年度 |
| (3) 基本設計・実施設計 | 令和7年度 |
| (4) 改修工事 | 令和8年度 |
| (5) 活用開始 | 令和9年度 |



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和7年度
項目		現在の状況
「文教のまち」推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
支援事業名	霧生関(58号)発行業務、竹村家住宅拝観料	
計画に記載している内容	佐川町の歴史的風致である「文教」をさらに推進するため、地域における歴史・文化等に着目した「文教活動」を支援する。・地域住民による偉人顕彰活動への支援・「霧生関」発行等歴史的な活動への支援・観光と歴史的風致が連携した活動を実施する団体への支援・名教館等歴史的建造物で実施される活動への支援	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
佐川町歴史的風致維持向上計画(第2期)の「「文教」が醸し出す歴史的風致」にのっとり、熱い思いと誇りを胸に、文教のまちを次の世代へと継承する活動・事業に対し、町が予算の範囲内で補助することにより、佐川町の歴史的風致の維持向上を図るとともに、歴史的文化を活用したまちづくりの推進を図ることを目的とした、補助金を制定した。(交付実績:2件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
・(交付実績)・佐川史談会発行「霧生関」 明治22年に佐川町出身の学生たちにより創刊され、昭和55年に「佐川史談会」により復刊された機関誌。 ・NPO法人佐川くろがねの会による「竹村家住宅へのガイド」 国の重要文化財である「竹村家住宅」は県下屈指の酒蔵とともに佐川の主要観光エリアにあり、年中を通して観光客が訪れている。		
		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
文化財の保存・活用について 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 現在、文化財の保存活用に携わる団体は、積極的かつ地道な活動を展開しており、まちづくり行政等との連携も十分とれている。今後も、こうした活動の前進をさらに目指し、行政との連携も一層強化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度も「さかわ酒蔵ロード劇場」や「酒蔵の道ひなまつり」をはじめ、佐川高校地域マネジメント部による上町地区での活動が無事に行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

佐川高校地域マネジメント部の活動



仁淀ブルー体験博2024

「地元高校生と行く町歩き! プチっとグルメ ～上町・牧野公園散策～」 当日の様子

開催日: 10月27日(土)



上町地区で毎年開催される「さかわ酒蔵ロード劇場」

今年度は開催日が11/30と例年よりも寒い時期に開催となったが、当日は多くの来場者で賑わった。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和7年度
項目		現在の状況
文化財の防災について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	火災が発生しないための予防対策の徹底と、迅速な消火体制の確保を図るとともに、万が一の火災発生時には迅速に対応できるよう日頃からの防火教育・訓練に取り組む。 毎年1月26日の文化財防火デーにあわせて、有形文化財に指定された建造物等で消火訓練を実施。今年度は1月26日が日曜日であったため、平日の1月27日に開催した。地元住民・地元消防団・消防署・防災担当・文化財保護審議会委員が参加している。	
事業期間	令和7年1月27日	
支援事業名	第71回文化財防火デー防火訓練	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
防火デーには、尾川地区で文化財を対象に消防署、消防団、地域住民の方々と共に消火訓練を実施し防火意識の向上を図った。地域住民の参加人数は約 名程。今後も引き続き、文化財の保存や防災の大切さについて関係者に周知を行っていく。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平日ということもあり、地域の若い世代の参加は見られなかった。周辺は高齢者が多く、初期の段階で発見・通報・初期消火を行わないと延焼に繋がる恐れがある。	
状況を示す写真や資料等		
 1月27日文化財防火デーの消火訓練には地域住民、地元消防団、消防署、文化財保護審議会委員が参加し、模擬通報、地元消防団における放水訓練、地域住民による消火器での消火訓練等を実施後、消防署から講評を受けた。		



町指定有形文化財「古畑観音堂（ふるはたかんのんどう）」のある、尾川地区にて火災発生を想定し、通報訓練等及び消火訓練を実施した。

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の価値を町民がより理解し、保存や活用の意識を高めるため、学校教育では町独自の文化財教育・文化財見学会を実施し、社会教育等では文化財や町の歴史に関する教室の開催、分かりやすいパンフレットの作成による啓発活動などを行う。		
事業期間	令和6年8月16日、令和6年11月3日、令和6年11月12日		
支援事業名	瑞応の盆踊、佐川町の太刀踊、白倉神社花取踊		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
黒岩小学校で卒業生(高校生)も含めて、「太刀踊り子ども教室」を開催し、高知県の無形民俗文化財である「佐川町の太刀踊」の継承に取り組んだ。他にも斗賀野小学校児童による白倉神社花取踊(町指定無形民俗文化財)や瑞応の盆踊(県指定無形民俗文化財)に地域の児童・生徒が参加、地域の行事などを通じて成果を披露し、地域の伝統芸能としての位置づけを高めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし	児童生徒が積極的に参加し、継承に取り組んでいるが、発表の場は地域内の行事に限られている。今後は、町内外のイベント等への参加及び披露する機会を増やすことを検討していく。		
状況を示す写真や資料等			



【瑞応の盆踊（県指定保護無形民俗文化財）】

黒岩瑞応地区が中心となり、瑞応盆踊りを継承していくため、子どもたちの指導にあたっている。
今年度は、高知県の担い手支援事業により、事前準備から踊り手に至るまで県職員、大学生の支援を得て賑やかに奉



【佐川町の太刀踊（県指定保護無形民俗文化財）】

黒岩地区の小中高生等が積極的に参加し継承に取り組んでいる。
1月3日の仁井田神社の秋の大祭で神事のあと太刀踊りを奉納している。
今年度は、高知県の担い手支援事業により、新たに職



【白倉神社花取踊（町指定保護無形民俗文化財）】

斗賀野地区の小中高生等が積極的に参加し、継承に取り組んでいる。
1月12日の白倉神社の秋の大祭では保育園児が神輿を担いでおなばれを執り行い、白倉神社で花取踊りを奉納後、見物人に餅投げを行うなど地域の祭りとして定着している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

連続テレビ小説「らんまん」放送を受け、佐川町を訪れる観光客数が増加し、メディアで取り上げられる回数も多かった。また、町内の各団体の活動も取り上げられることが多かった。

状況を示す写真や資料等

状況を示す写真や資料等

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 佐川町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和7年2月26日	
(コメントの概要) ＜ 司牡丹焼酎蔵買取・整備事業 ＞ (1) <u>焼酎蔵の管理・運営事業者について</u> 焼酎蔵の管理は、各機能ごとに募集をするのか、それとも全体を一括して募集するのか。 (2) <u>「酒ギャラリーほてい」について</u> 改修後もこれまで通り「酒ギャラリーほてい」は営業を継続するのか。 (3) 施設について 改修後は、佐川の食・文化などが楽しめる施設にしてほしい。	
(今後の対応方針) ＜ 司牡丹焼酎蔵買取・整備事業 ＞ (1) <u>焼酎蔵の管理・運営事業者について</u> 焼酎蔵の管理は、指定管理者制度を活用予定。「酒ギャラリーほてい」を除いた全ての機能を指定管理者に一括して管理運営してもらう予定。 (2) <u>「酒ギャラリーほてい」について</u> 現時点では、改修後も司牡丹様が営業をするというふうに認識している。 (3) 施設について 施設を管理運営する指定管理者にもよるが、町としては、これまでの佐川町の歴史や文化を感じれる施設になるよう指定管理者に求める予定。	